

地区計画区域内（南芦屋浜地区地区計画）における
地区施設（親水遊歩道）の整備及び維持管理基準

1 目的

この基準は、南芦屋浜地区の地区計画区域内において、地区施設を適正に整備及び維持管理するために必要な事項を定め、もって良好なまちなみを維持することを目的とする。

2 用語の定義

この基準で使用する用語の意義は、建築基準法（昭和25年法律第201号）及び建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）で規定する用語の例によるほか、それぞれ次の各号に定めるところによる。

（1）地区計画

都市計画法（昭和43年法律第100号。以下「法」という。）第12条の4第1項第1号に規定する地区計画

（2）地区施設

法第12条の5第2項第1号に規定する施設

（3）管理者等

地区施設及び地区施設内の工作物等の所有者及び管理者

3 地区施設

この基準が適用される地区施設は、次のとおりとする。

（1）親水遊歩道（南芦屋浜地区地区計画の計画図に示す範囲）

4 地区施設の整備の方針

マリーナ水域に面する護岸の一部については、マリーナの眺望を活かし、親水性に富む歩行者に開放された地区施設「親水遊歩道」を整備することにより、快適な歩行者空間の充実を図るものとする。（参考図参照）。

ただし、護岸機能の維持又は安全管理上必要がある場合は、この限りでない。

5 地区施設の維持管理等

（1）維持管理に関する義務

管理者等は、地区施設が法に基づき設置したものであることを十分認識した上で、別表に掲げる地区施設の維持管理に関する義務を遵守し、将来にわたって良好な状態で維持管理を行わなければならない。

また、管理者等及び管理者等の依頼を受けて地区施設及び地区施設内の工作物

等の取引等を行う者は、地区施設及び地区施設内の工作物等を第三者に譲渡又は貸与する場合には、売買契約書（若しくは賃貸借契約書）、重要事項説明書、管理規約等において、別表に掲げる内容を明記し、買主等に十分周知させなければならない。

(2) 維持管理に関する手続き

管理者等は、地区施設を適正に維持管理するため、地区施設維持管理責任者の選任及び地区施設維持管理責任者の誓約書を様式第1号により市長に届け出なければならない。

管理者等は、地区施設維持管理責任者を変更する場合は、すみやかに同様式により市長に届け出なければならない。

(3) 維持管理の報告及び改善

市長は、管理者等に対して、様式第2号により地区施設の維持管理状況等について報告を求めた上で、地区施設の維持管理が適正に行われていないと認められる場合は改善を求めることができる。

(4) 改築等に関する手続き等

管理者等は、地区施設内の工作物等を変更、改造する場合は、あらかじめ様式第3号により市長に届け出なければならない。ただし、通常の実務行為、軽易な行為については適用しない。

当該届出の行為が完了した時は、様式第4号により報告をしなければならない。

なお、市長は、届出に係る行為が地区施設の整備の方針にそぐわないと認められる場合は、当該届出をしたものに対し、必要な措置を講ずるよう助言又は指導することができる。

附 則

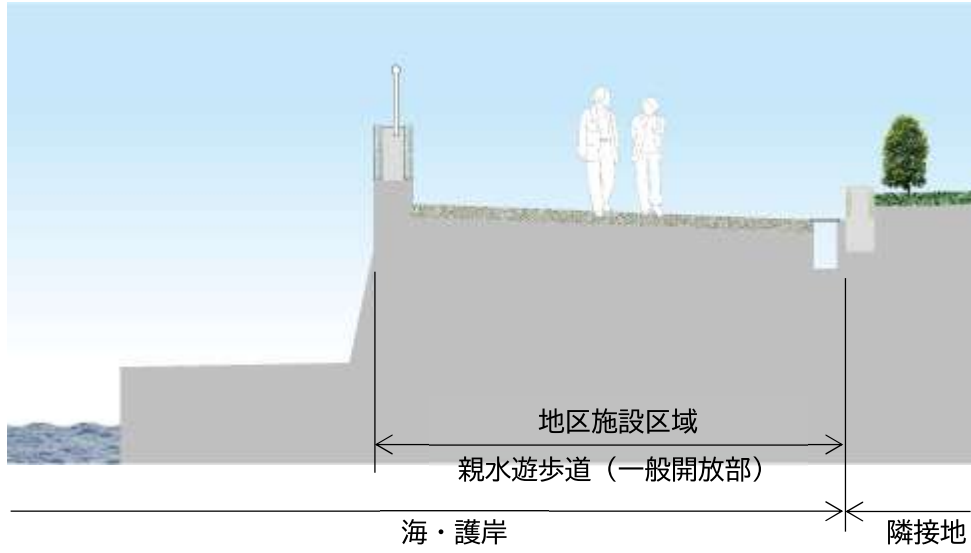
この基準は、令和8年4月1日より施行する。

別 表

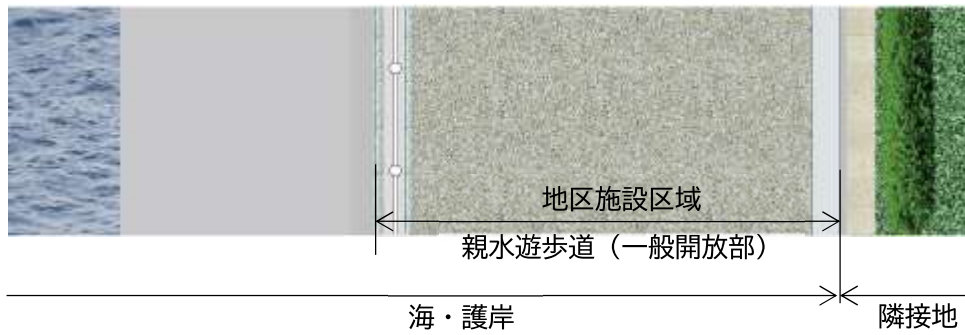
地区施設の維持管理に関する義務（遵守事項）	
①機能保持の義務	地区施設は、まちなみの景観や歩行者空間の快適さの維持・向上に資するよう護岸敷地内に設けた公共空地であるため、歩行者の自由な通行及び日常的な清掃、補修の管理等に留意し、良好な状態を維持すること。
②管理責任及び費用負担の義務	地区施設は、管理者等がその責任と負担において、常時適正な状態に維持管理すること。
③地区施設維持管理責任者の選任義務等	管理者等は、地区施設の維持管理について地区施設維持管理責任者を選任し、誓約書とともに市長に届け出ること。また、維持管理を委託する場合は、管理委託契約書等に地区施設の維持管理に関する事項を明記すること。
④計画図書の保管義務	管理者等は、地区施設の内容を示した図書を作成し、保管すること。
⑤管理責任承継の義務	上記①～⑤の事項は、地区施設及び地区施設内の工作物等を第三者に譲渡又は貸与する場合に、管理者等の責任において当該第三者に承継すること。

参 考 图

断面图 (参考)



平面図 (参考)



立面图 (参考)

